

NEWS RELEASE

2021年11月10日

令和2年度に十六総合研究所が総務省より受託した、  
「課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」が  
日経ムック『まるわかり！5Gビジネス2022』に  
掲載されました

令和2年度に、株式会社十六総合研究所と株式会社NTTドコモが岐阜県白川村と共同で、総務省「令和2年度地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」を行いました。その様子が、この度日経ムック『まるわかり！5Gビジネス2022』に掲載されましたのでお知らせします。

(掲載された内容を次ページに表示していますが、本文にぼかしを入れています。何卒ご了承ください。)



■ 日本経済新聞出版紹介ページ

<https://nikkeibook.nikkeibp.co.jp/item-detail/18339>

以上



出所:総務省の資料を基に編集部作成 写真写真提供:岐阜県白川村役場

観光客はスマートフォンを持って周遊し、観光ポイント・文化財などに近づく和高精細な解説動画を提供し、AR(拡張現実)による分岐ナビゲーションで、お昼になるとランチ情報配信し、マナーコンテンツで自動啓発し、観光客はスマートフォンを持って周遊する。このシステムは、観光客の利便性を高め、観光客の滞在時間を長くし、観光客の滞在体験を向上させる。また、観光客の滞在体験を向上させることで、観光客の滞在満足度を高め、観光客の滞在満足度を高めることで、観光客の滞在満足度を高める。このシステムは、観光客の利便性を高め、観光客の滞在時間を長くし、観光客の滞在体験を向上させる。また、観光客の滞在体験を向上させることで、観光客の滞在満足度を高め、観光客の滞在満足度を高めることで、観光客の滞在満足度を高める。

観光客はスマートフォンを持って周遊し、観光ポイント・文化財などに近づく和高精細な解説動画を提供し、AR(拡張現実)による分岐ナビゲーションで、お昼になるとランチ情報配信し、マナーコンテンツで自動啓発し、観光客はスマートフォンを持って周遊する。このシステムは、観光客の利便性を高め、観光客の滞在時間を長くし、観光客の滞在体験を向上させる。また、観光客の滞在体験を向上させることで、観光客の滞在満足度を高め、観光客の滞在満足度を高めることで、観光客の滞在満足度を高める。



# CASE STUDY

岐阜県白川村の次世代観光ガイドシステム

## 5G通信を活用した新たな観光体験でオーバーツーリズム解消を目指す ピンポイントな情報提供で観光客の 分散、滞在時間の長期化を実現

世界遺産白川郷を擁する岐阜県の白川村。人口16000人に満たない同村では、年間215万人を超える観光客による「オーバーツーリズム」が問題視される。その解消策として、5G通信を駆使した「次世代観光ガイドシステム」の実証実験が行われ、期待が高まっている。

5G通信の特性を活かし感動・  
販促の機を確実に捉える

観光客はスマートフォンを持って周遊し、観光ポイント・文化財などに近づく和高精細な解説動画を提供し、AR(拡張現実)による分岐ナビゲーションで、お昼になるとランチ情報配信し、マナーコンテンツで自動啓発し、観光客はスマートフォンを持って周遊する。このシステムは、観光客の利便性を高め、観光客の滞在時間を長くし、観光客の滞在体験を向上させる。また、観光客の滞在体験を向上させることで、観光客の滞在満足度を高め、観光客の滞在満足度を高めることで、観光客の滞在満足度を高める。

観光客はスマートフォンを持って周遊し、観光ポイント・文化財などに近づく和高精細な解説動画を提供し、AR(拡張現実)による分岐ナビゲーションで、お昼になるとランチ情報配信し、マナーコンテンツで自動啓発し、観光客はスマートフォンを持って周遊する。このシステムは、観光客の利便性を高め、観光客の滞在時間を長くし、観光客の滞在体験を向上させる。また、観光客の滞在体験を向上させることで、観光客の滞在満足度を高め、観光客の滞在満足度を高めることで、観光客の滞在満足度を高める。

観光客はスマートフォンを持って周遊し、観光ポイント・文化財などに近づく和高精細な解説動画を提供し、AR(拡張現実)による分岐ナビゲーションで、お昼になるとランチ情報配信し、マナーコンテンツで自動啓発し、観光客はスマートフォンを持って周遊する。このシステムは、観光客の利便性を高め、観光客の滞在時間を長くし、観光客の滞在体験を向上させる。また、観光客の滞在体験を向上させることで、観光客の滞在満足度を高め、観光客の滞在満足度を高めることで、観光客の滞在満足度を高める。



NTTドコモ 法人営業部  
ビジネスプロデュース担当  
北村彩香氏  
Ayaka Kitamura



NTTドコモ 法人営業部  
ビジネスデザイン ICTデザイン担当  
和深一心氏  
Isshin Wabuka



十六総合研究所  
リサーチ部 研究員  
森 俊介氏  
Shunsuke Mori



十六総合研究所  
リサーチ部 主任研究員  
田代達生氏  
Tatsuo Tashiro